

ならは 今とこれから MAP



(仮称)ならはスマートI.C
 平成30年度供用開始
 ○地域経済の活性化 ○避難経路の確保
 ○救急救命活動の向上

・交通ネットワークの形成



平成28年春より水稲作付再開

・農業を介した交流づくり
・営農再開ビジョン策定



檜葉中学校
 ○平成29年4月に学校再開
 ○小中学校同一校舎において連携型教育

・魅力ある学校づくり



コンパクトタウン

復興の新拠点 コンパクトタウン
 ○災害公営住宅140戸のほか、宅地分譲地も整備中
 ○歯医者さんも平成28年夏頃に診療開始予定
 ○商業施設は平成30年6月末オープン

・新たな町民のコミュニティ受け入れ
・スマートコミュニティ導入
・みんなの交流館ならはCANvasも整備



ふたば復興診療所「ふたばリカール」
 ○内科と整形外科を診療
 ○CTや内視鏡検査も受けられます



災害公営住宅
 ○一ツ屋団地 8戸
 ○シウ神山団地 10戸



檜葉南工業団地
 ○檜葉遠隔技術開発センター(写真)(モックアップ施設)等に関連した企業等を集積
 ○新たな企業の誘致

・関連技術活用による起業
ベンチャー企業支援

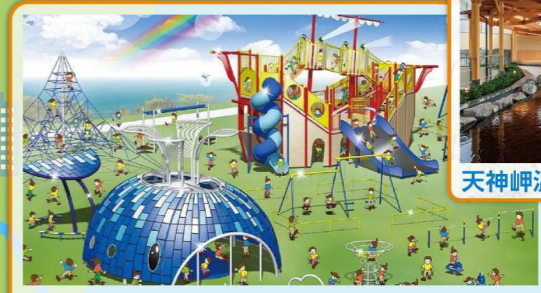


産業再生エリア
 ○新たな企業の誘致

・新産業への産業転換による持続可能な企業活動の推進

電田駅東側エリア
 ○駐車・乗降スペースのある駅前広場
 ○廃炉関連企業の事務所及び宿舍等を整備

・交通結節点形成による地域住民の足の確保



天神岬スポーツ公園
 ○しおかぜ荘、サイクリングターミナルがリニューアルオープン!
 ○芝生広場には新しく大きな遊具が登場!



天神岬温泉しおかぜ荘



洋上風力発電



天神岬公園津波防災対策ビューポイント
 震災の記録を後世に伝える施設



木戸川のサケ漁
 ○サケ漁も再開!
 ○鮭ふ化場などの施設も復旧



新生Jヴィレッジ
 世界に誇るナショナルトレーニングセンターとして再生!
 平成30年夏までに一部営業を再開!

・Jヴィレッジを核とした復興

～檜葉町の復興の状況～

◎町内の公営住宅の整備
 ・3月末をもって仮設、借上げ住宅の供与が終了したことに伴い、町民を受け入れる災害公営住宅(158戸)と新たに町内に居住を希望する方を受け入れる分譲団地49区画を整備。

◎利便性の向上が期待される「笑ふるタウンならは」
 ・町民や町内事業者の暮らしの再生と新たな居住を促進するため、医療、商業、交流施設を集積した「笑ふるタウンならは」の商業施設が今年6月下旬にオープン予定。(みんなの交流館ならはCANvas)は7月下旬予定)

◎Jヴィレッジを核とした地域振興
 ・7月28日に一部再開されるJヴィレッジを核とし、檜葉南工業団地や道の駅、新設される駅などを有効に活用し、復興のシンボルであるJヴィレッジとともに町全体が活力に満ちた地域振興を目指す。

◎新たな農業へのチャレンジ
 ・農業の再生に向け、営農再開ビジョンを策定し、整備中のカントリーエレベーターや育苗施設などを活用し、稲作全体をバクアップするとともに、花卉やさつまいもなど、新たな分野へチャレンジする。



太平洋 N